



森のなかま

2016年8月号

NO. 100 (継続245号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302



『第35回 横浜開港祭 2016 街頭キャンペーン』

来場者数ワーストとベストを経験

場所:みなとみらい臨港パーク

日時、天気:6/1(水)、晴れ、6/2(木=開港記念日)、晴れ

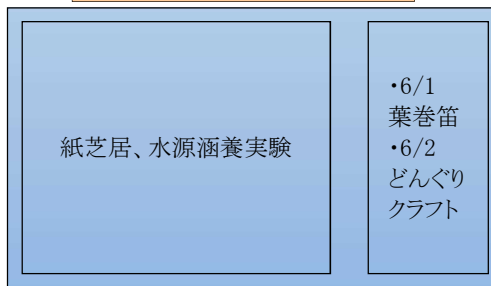


< 普及啓発部会 森本 正信 5期 >

平日開催となった今年の開港祭。言い訳は無しとしたいが、出店場所が決まったのが5/30、既にフィックスされており、これからの変更は無理。3ブース列の真ん中で、加えて、バックヤードも使用不可の状態。む〜ん、過去、これだけの修羅場は初経験。

三日間に渡りレイアウトを熟慮し、何とか凌げたと思う。課題山積のイベントとなりました。

苦労したレイアウト



受付

◆来場者数

6/1 (水) 11名 (大人8名、子ども3名) ⇒
ワーストレコード

6/2 (木) 454名 (大人175名、子ども279名) ⇒
ベストレコード

2日間合計 465名 (大人183名、子ども282名)

◆出展内容 (丸太切りは場所確保不可で断念)

6/1: 紙芝居 + 葉巻笛

6/2: 紙芝居 + どんぐりクラフト 300個

6/1 いよいよ開始です。ですが人の出は!! 閑散

パシフィコ横浜付近も

我がキャンペーン会場も



6/2 一転 盛況を物語る受付待ちの行列



受付も大忙し

紙芝居・水源涵養実験
子供達は興味津々

どんぐりクラフト
(今年は丸太切りは無し)

目標以上を達成! 終了



(写真撮影: 伊藤恭造 氏⑦、足立功 氏④、広報: 松本⑩)

(公財)トラストみどり財団主催 平成28年度第2回ブラッシュアップ研修「丸太筋工、経路工の施工方法」

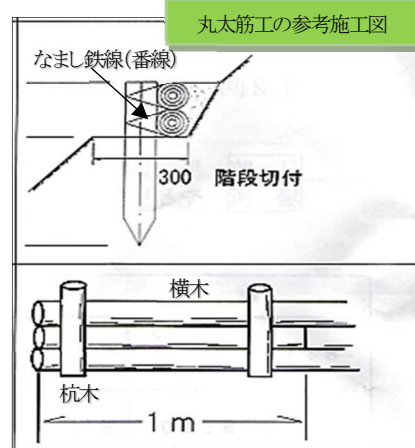
日時:6月11日(日)、場所:松田町 やどりき水源林内

< 江上 徹 13期 >

ブラッシュアップ研修「丸太筋工、経路工の施工方法」に参加しました。現場では、先ず丸太筋工施工場所の確認を行い、床掘りを行いました。凸凹をできる限り抑えた床を掘り、継ぎ目が目立たないように丸太を選抜設置するのが作業ポイントでした。次いで床に仮置きした太めの丸太で杭の位置を決め、掛矢で垂直に杭を打ちました(これもポイント)。番線で杭と丸太を縛り、シノで締め上げ1段目の完成です。班メンバーであれやこれやと言いながら、出来栄と作業スピードともまずまずの滑り出しでした。番線の結束作業にはまだ経験が必要ですが、2段、3段とも比較的スムーズに作業が進みました。最後に両端の土留めをして杭の頭を揃え、仕上げとなりました。プロ指導者の杉崎さん(13期で私達と同期、プロになり遅くなっていました)からも、よくできているとの言葉を戴きました。

午後は経路整備です。作業道にステップを3段作り、作業道谷側に残余の間伐丸太を置き、必要な杭を打って固定しました。歩きやすさを念頭に、段差と道幅を配慮した施工を心掛けました。更に作業道の安定を考慮して雨水の逃げ道を途中に設け、18m程の整備工事が完了しました。新定着作業などの際は、楽に安全にお歩けるにちがいありません。

グループ9人で一人当たりの手数が少なめだったのは心残りでしたが、森林インストラクターとして資質の向上が図れました。今後は現場で経験を積み技術を磨き、実践したいと思います。(写真撮影・(写真/イラスト)キャプション 研修生兼広報 松本⑪)



- | | | |
|------|-----------------------------------|-----------------------|
| 研修工程 | ・8:30~9:10 バス移動 | ・9:10~9:20 オリエンテーション |
| | ・9:20~9:50 作業場所まで徒歩移動(道具、一部資材も運搬) | |
| | ・9:50~14:30 講義/実技(昼食含み) | ・14:30~15:00 作業場所から下山 |
| | ・15:00~15:20 研修講評 感想 | ・15:30~16:10 バス移動、解散 |

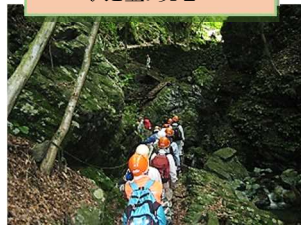
講師:(有)丹沢 代表 前田氏他 2名、研修生:27名

- | | |
|--------|---|
| 1班 前田氏 | 宮本⑥、久保⑧、内野⑨、水口⑨、福島⑪、宇田川⑬、藺田⑬、谷⑭ |
| 2班 杉崎氏 | 佐藤⑤、大道⑥、有坂⑧、辻村⑨、大澤⑩、吉田⑪、大橋⑪、江上⑬、桑田⑭、水野⑭ |
| 3班 岸田氏 | 滝澤⑤、釘宮⑥、三浦⑧、福島⑨、柴⑪、松本⑪、松永⑪、斉藤⑬、小松⑭ |

オリエンテーション



沢を登り現地へ

杭打ち、番線縛り/締めの写真なし
上記終了後の土入れ

筋工の途中チェック



筋工の完成

番線縛り・締めの上達具合
作業は下、中、上の順上
↑
中
↑
下

経路作りも完了



作業終了



下山





第83回森林探訪『風薫るハマの丘陵地を散策』

5月28日（土）9：00～15：00、晴れ、参加者：59名

<自然観察部会 小池 哉 12期 >

目には青葉 山ほととぎす 初鰹 ——江戸時代の俳人・山口素堂の句であり、鎌倉辺りの初夏の風景を詠んだものという。

「風薫るハマの丘陵地を散策」と題した第83回森林探訪は59名の方にご参加いただき、青空のもと、横浜市最南端の金沢区から、能見堂緑地、金沢自然公園、釜利谷市民の森、横浜自然観察の森へと続く自然が残された丘陵地を歩いた。

満開の ウツギ

自然の面白さを熟知している
ベテランインストラクターの説明

新緑はさまざまな緑色に彩られ、周囲の山肌はまるで“パッチワーク”のようであった。ホトギスほかたくさんの野鳥の声を聞きながら、インストラクターは樹木や植物の面白さや不思議さ、素晴らしさを説明した。参加者はいろいろな質問や話題で会話を楽しみ、和気あいあいとしてとても楽しそうに森を散策した。

資料に掲載したガビチョウやタイワンリスにもぎやかな声で歓迎し、参加者は「ハマの丘陵地」の自然を十分満喫されたようだった。

外来生物のガビチョウ



今年度の運営側の大きな変更点は、担当制を導入したこと。今まではチーフリーダーがタイムテーブルの見直しから資料作成まで一人ですべてを背負ってきたが、分担制ではチーフリーダーのほか3人の担当者が加わり、4人で知恵を出し合った。この分担



余裕の13期生

制の狙いは、運営に多くのメンバーが関わることで経験値を上げていくということである。今回の資料も、地理・歴史、動物、樹木、草花と4テーマを分担して作成したことで、満足な資料になったと思っている。また、今回は14期の2人がインストラクターとして“デビュー”した。

梅雨入りを目前に控えた5月最後の週末、心地よい汗をかきながら自然のおもしろさや素晴らしさを知ることができたようで、参加者の表情はとても満足げであった——。



デビューの14期生

(公財)かながわトラストみどり財団

みどり企画課・斉藤様 サポーター・重田様、看護師 長谷川様

インストラクターCL 小池⑫、L 海野⑩、L 小笠原⑩、L 西岡⑭、内野⑨、小林⑩、大塚⑪、松永⑪、長尾⑬、松石⑬、山口⑭

森のめぐみ シリーズ

第14回 クロモジの香りでやすらぎ

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

枠組は桜の小枝です

スギやヒノキの林に灌木として生えているクロモジ。和菓子の楊枝（ようじ）に使われるのでおなじみです。楊枝はふつう色が白く軟らかい木や竹で作られるのが普通です。しかしクロモジの場合はちがいます。樹皮付きなのです。

楊枝はもともと歯の掃除をするために使われていました。楊枝の楊はカワヤナギやネコヤナギの柳です。柳の木が使われていたことから楊枝という名がついたようです。総楊枝は楊枝の先をたたいて房のようにしたものです。これならば歯の掃除をするということがよく理解できます。そして爪楊枝（つまようじ）の爪は先端という意味で、先端で歯に挟まったものなどを取り除くのに使われるからです。ヤナギの樹皮にはサリシンという抗炎症作用のある成分がふくまれていますし、鎮痛効果や解熱効果があることは古くから知られていたようです。そのことを先人たちが知っていてヤナギの木を楊枝として使っていたのかどうかはわかりませんが、軟らかくて加工しやすかったこともヤナギが楊枝に使われてきた理由でしょう。

わが国で楊枝によく使われているのはシラカバです。これも軟らかく加工しやすいこともありますが成長が早いので材が手に入りやすいこともあるようです。おなじように材料が手に入りやすいタケの楊枝が東南アジアではよく使われていますし、わが国でもタケの楊枝をよく見かけるようになりました。楊枝は食べ物に使うので食を害するようなにおいのついている材は使わないのが普通です。シラカバもヤナギもタケもほとんどにおいがありません。ところがクロモジの場合は例外です。むしろにおいが好まれて使われているのです。クロモジは樹皮の内側と材の間におい成分が含まれていてかすかに芳香が漂います。それでクロモジの楊枝は皮付きなのです。

クロモジが生えている林に入ると心地よい香りが漂ってきます。スギ林にクロモジが自生する林の中を散策するとストレスを示す唾液アミラーゼが減少しストレス緩和に効果があることがわかっ

ています。この実験はスギなどの草木が生えている中で行なわれていますので、ストレス緩和がクロモジによるものかどうかはわかりませんが、クロモジの香りを直接嗅いだ時にもストレス軽減の効果があることでリラックス効果があることが明らかにされています。



最近の研究でクロモジの精油が血液のがんである白血病の予防効果があることも明らかにされています。クロモジの枝葉には揮発性の気分を快適にする成分が多く含まれています。わが国では明治時代からわずかながら精油採取が行なわれ、石鹼香料などに使われ、また少量ながら輸出もされていました。その香りの心地よさや生理機能が今また、見直され注目されだしてきています。

中国ではクロモジの枝葉は釣樟（ちょうしょう）と呼ばれて煎じて脚気や急性胃腸炎の治療に用いてきました。樹皮にも同じような効果があります。クロモジは伐採しても根元からまた新しい芽が出て成長する、いわゆる萌芽性（もがせい）の木ですので再生可能です。林の中に雑木として自生しているクロモジですが、日の目を当てて利用していきたいものです。

（イラスト 広報部 大塚 晴子 ⑪）

活動短信

今回の掲載は平成28年6/1～6/11です。
(今月は上記外で一部投稿遅れ短信の掲載もあります)
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



麦秋至 5/31～6/4頃
ばくしゅういたる
麦が成熟するとき
第二十四候 小満 末侯

腐草為螢 6/11～6/15頃
ふそうほたるとなる
腐った草が螢に生まれ変わる
第二十六候 芒種 次侯



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

◆ 株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ
春季森林保全活動「はじまりの森」

- 日 4月2日(土)10:20～12:20、曇り
場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド
参 参加者:社長濱場様、取締役高山様、事務局掛札様、計16名
イ L西出⑫、小沢⑨、辻村⑨

開会前に少し霧雨が降っていましたが、それも止んで、ほぼ定刻通り開催することができました。開会式(会社挨拶、インストラクター挨拶・紹介、注意事項の伝達、準備体操)の後、道具を配布して、3班に別れて、駐車スペース西側上部のヒノキ林に移動し、間伐を開始しました。

ほとんどの方が間伐は未経験で、注意事項や間伐の手順を丁寧に説明して、作業に掛かりました。それでも、樹高4～5m、直径10～15cm程度のヒノキを各班2～3本、計8本を処理して、森林整備の成果を十分に上げることができました。その後、お客様の要望で、全員がヒノキのコースター作りを行って、いい香りのするお土産として頂きました。作業終了後、移動して、道具の手入れを行って12時過ぎにお別れしました。ヒヤリハットはもちろん、怪我一つなく無事に終わる事ができました。

今回は、お忙しい中、濱場社長を初め会社幹部の方が多数参加されていて、会社の森林保全活動に対する関心の高さが伝わってきました。

(記 西出 健一 ⑫)

◆ 横浜市立桜岡小学校
森林学習(間伐体験)

- 日 6月1日(水) 9:15～13:30、曇りのち晴れ
場 長竹承継分収林
参 小学5年生108名、教師等8名 計116名
財 古館様
イ L星野⑬、佐藤⑤、渡部⑦、有坂⑧、鈴木⑧、内野⑨、小沢⑨、松山⑩、立花⑭、小松⑭

天気は曇りのち晴れで、みどりが鮮やかな季節のヒノキ間伐体験であった。

時間の経過は、9時15分に愛川ふれあいの村広場に集合、9時半からはじまりの会、9時45分にふれあいの村を出発、10時に長竹着後、9班毎に道具を配布、10時半に現地到着後、間伐の必要性の説明、各班1本の間伐体験、コースター作り、11時45分から昼食、12時30分から終わりの会、12時50分から道具の片づけ、13時に現地発であった。

気を付けたことは、全員が楽しみながらのこぎりなどを使う経験ができること、インストラクターの指示に従い安全第一に心がけたこと、道具の数の点検などであった。

児童の感想を聞いたが、全員が「楽しかった!」、とのことだった。これを機会に自然に親しみ、自然を大切にする様に話をしました。

(記 小松 立史 ⑭)

◆ 県民参加の森林づくり 緑の募金保全活動

- 日 6月4日(土) 7:30～14:30、晴れ
場 南足柄市内山県立21世紀の森
平成25年成長の森エリア
参 大人56名(男性48名、女性8名)
財 豊丸課長、鳥海様 看 青木様
イ L大原⑬、1班・長尾⑬・堀江④・小松⑭、2班・斉藤⑧・大塚⑪・牧石⑭、3班・後藤⑩・藤代⑬・谷⑭、4班・上宮田⑪・鈴木⑤・水野⑭、5班・松石⑬・大橋⑪

(各班、班長・インストラクター・研修生の順)

成長の森の実施場所は、平成25年度に寄水源林から当地へ移り、初年度の無花粉スギ植栽地(0.4ha)という思い入れのある場所での作業となりました。植栽した無花粉スギは、立派に成長していました。安全目標は「体調

管理・熱中症に注意」としました。

作業地は、斜面で日陰もなく、腰高上まで伸びた雑草で埋まり、竹似草、アカメガシワ、野苺バラの棘、ネットにからんだ葛、林側の柵の近辺に進出した孟宗竹の除伐、イノシシに荒らされた多くの穴での足場確保等々、かなりハードな作業地での下草刈りとなりました。

体調管理・熱中症対策で、参加者には強制的に水分補給休憩を取って貰いました。全員、事故、怪我もなく、また、植栽木の「誤伐」もなく、段取り良く予定の作業を終えることが出来、作業後の「緑の募金保全活動」時間も十分取れました。

参加者から充実感を得た旨の話を頂きました。また、作業前に15期インストラクター養成講座受講生募集中、成長の森事業の説明・参加者募集中の話をしましたが、今回の一般参加者より、15期インストラクターに応募する旨の話を貰ったことは収穫でした。

(記 大原 正志 ⑬)

◆ 神奈川県立21世紀の森 森づくりとタケノコ折り

日 6月4日(土) 9:00～15:00、晴れ

場 神奈川県立21世紀の森 真竹展示林 研修室

参 23名 (大人11名、子供12名)

スタッフ 神奈川県立21世紀の森

辰巳様、平井様、荒木様、山崎様

イ L小沢⑨

真竹のタケノコ折りと名打って、12名の子供達が参加した。快晴の一日がスタート、辰巳様の進行により研修室に於いて全体のスケジュールの説明と安全のポイントを伝える。ここで真竹のタケノコがイノシシに先手を打たれている事を下見で確認していた為、タケノコはほとんど無い物と思って下さいとお話をし、森林館の前でヘルメット、竹ノコギリ、選定ハサミ等を準備しいざ真竹展示林へ出発。子供のメジカラは凄い、一家族2～3本のタケノコをゲットされていた。大人の方は竹林整備とカタツムリの真竹を確保。

午後の竹細工は真竹を使用したカタツムリの作成、下見時に作ったサンプルを見て頂き、子供以上に大人も真剣、鉋(ナタ)を使用するところなどは加勢したが皆さん楽しく作業をされた。和気あいあいの中カタツムリの各アイテムを完成、残りの形状は家庭に帰ってからのお楽しみとして各自お持ち帰り頂いた。

参加された皆様へ今後のイベントスケジュール等を渡し再び県立21世紀の森へ遊びに来て頂くことを約し終了。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 横浜市立西寺尾小学校

上郷・森の家 宿泊体験学習

日 6月8日(水) 13:00～20:00、曇時々晴れ

場 横浜自然観察の森

参 小学4年生 66名、副校長ほか教師7名

イ L堀江④、渡辺③、杉戸⑥、伊藤⑦、

長尾⑬、藺田⑬

数日前まで雨の予報であったが、当日は時々日が差し少し蒸し暑い天気となった。

集合場所のモンキチョウ広場にはほぼ定刻の13時50分に集合して、随行された教員の方から本日の説明の後、班別のインストラクターの紹介があり、堀江リーダーから注意事項を聞いてから班毎に出発する。

今回の自然観察のルートは学校側の希望により余り馴染みの無い「コナラの道」ととなりましたが、元気いっぱいの子供たちと出掛けました。この森には、ヌルデ・ヤマウルシ・ヤマハゼなど注意する木がたくさんあり、これを避けながらルートを進みます。途中、クサギ・コクサギ・クロモジなどの匂いを嗅ぎ盛り上がりました。後半には、自然林と人工林の境目を歩く所があり、森の機能の解説をして15時40分に出発地点に戻りました。

18時から児童と一緒に夕食を食べ、19時に森の家を出発しゲンジボタルの谷へ向け出発しました。出発時刻はまだ薄暮だったので道はなんとか見える中を進み19時20分頃現地に着きました。既にゲンジボタルが飛び始めていて、幻想的な光景に皆うつとり見とれました。帰り道は真っ暗でしたが、ホテルに影響のない所で少し懐中電灯を使い20時には森の家に戻りました。飛び交うホテルを始めて見た児童が多く満足気な表情が印象的でした。

(記 藺田 栄哉 ⑬)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。
かながわの水環境の
保全・再生をめざして
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 横浜市立一本松小学校

総合的な学習の時間～足柄の自然を楽しもう～

日 6月9日(木)8:45～12:00、霧、曇り

場 足柄ふれあいの村 丸太の森

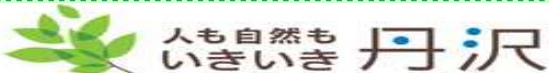
参 99名 (大人10名、子供89名)

イ L杉崎⑩、井出①、足立④、武者⑦、

小沢⑨、辻村⑨、大原⑬、古館⑬、真部⑬

空模様が心配される中、足柄ふれあいの村金太郎広場に5,6年生89名が集合。雨具を身につけ丸太の森へ。コース中に見晴らし広場(標高420m)を目指しAコース6班、Bコース3班に分かれ出発。ハナイカダ等の植物を観察しながら昭和8年に建てられた旧福沢小学校の移転された校舎及び二宮金次郎の像を見て足柄公園を歩く、渓谷に架けられた吊り橋を揺れるに任せ楽しんでいる。森の中を縫うように流れるせせらぎの小径では子供達がサワガニを発見。途中ではAコース班、Bコース班が行き交いお互いに励まし合った。目的とした見晴らし広場に着くもあいにくの曇空、足柄平野の眺望を見る事は出来なかった。下山途中では古民家を訪れ明治初期へタイムスリップ、予想された雨にもほとんど降られず最終目的地のそよかぜ広場へ全員無事に到着、事前学習をした内容を振り返り本日の山行を皆さん満喫した顔であった。

(記 小沢 章男 ⑨)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 富士通FIP第9回富士通の森 森林づくり活動

日 6月11日(土)10:20～13:30、晴れ

場 足柄上郡山北町世附字日影山

参 60名のところ1名不参加

県 星様、大西様

イ L上田⑩、

間伐担当者 相馬⑤、永野⑥、齋藤⑥、伊藤⑦、

鈴木⑧、石川⑫、澤村⑫、焼尾⑬

水生生物担当者 宮本④、小沢⑨

私たちは、予定通り9時10分過ぎに現地へ到着しましたが、富士通様は道路渋滞で到着が遅れるので、13時30分の出発までに安全に楽しく活動できるように、伐倒方向の確認、周辺の片づけ等下準備しました。11時10分過ぎに到着し15分から開会式。米倉社長、県水源環

境保全課の星様、上田部長の挨拶に続いて、記念撮影が行なわれました。焼尾さんの掛け声で準備運動の後、6班に分かれ森へ入りました。5つの間伐体験班(6名ずつ)の伐倒目標は2本ずつ。間伐と水生生物の観察を行なう自然観察班は1本伐倒後、小菅沢橋下上流部で水生生物の観察を行なう予定です。私の班は女性を含む5名が初体験だったので、チョークを使い、受け口を伐りすぎないこと、ツルの大切さを説きながら時間内に2本のスギを倒すことができました。各班とも13時過ぎには終了し、道具の手入れ、閉会式と無事に終了し、次の目的地へ向かいしました。間伐本数は合計9本でした。水生生物班担当を除く9名は、昼食後「道の駅山北」へ移動し、先着の2名に合流し、終了ミーティングを行ないました。県水源環境保全課・星様から間伐担当者ごとに指導の仕方が違うことについて質問があったようですが、県民参加の森林づくりでトラストが配布する「〇〇作業の要点」のような簡単な絵入り資料や伐倒方向を確認する矢印板を全員が所持するといいいのではないかと思います。

(記 石川 裕一 ⑫)

お詫びと訂正

2016年(平成28年)7月号の活動短信7ページの富士通MCS様の誤ったフルネームを記載してしまいました。

誤) 富士通ミッションクリティカルソフトウェア株式会社
正) 株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ

お詫びを申し上げるとともに、今後このような事がないように十分チェックを行います。

また、お手数ですが合わせて訂正をお願いいたします。なお、ホームページの掲載はすでに訂正してあります。

かながわ森林インストラクターの会 広報部長 松本 保

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合 XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字: 期) 研 研修梓
(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

やどりき水源林 ミニガイド

7月のトピックス

梅雨時で滝郷の滝も水量が多い。



(7/16 松本撮影)

8月の水源林

楽しい夏休み。やどりきの水遊びは絶好の時期です。清流があるやどりきに来て熱中症を吹っ飛ばそう!! 滝郷の滝の瀑布も待っています。

「森の案内人」情報

●実施時間: 毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1~2時間程度

●集 合: 水源林入口ゲート前

●内 容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ: (公財)かながわトラス

みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

MUSICAL『マリアと緑のプリンセス』

<http://www.tvk-yokohama.com/event/maria/>



・日時: 9月25日(日)2回公演

① 11:30~ ② 15:30~

・会場: KATT 神奈川芸術劇場ホール

・申し込み・問合せ: tvkチケットカウンター

045-663-9999 <http://www.tvkcom.net/>

・なお、県民共済加入の方は応募により抽選で

300組600名を招待 この申込みは8/15迄

http://www.kenminkyosai.or.jp/m_princess/

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s.akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★ダイエットのために毎日ウォーキングしています。路沿いの栃や葛の花、ミズキの実など、季節の移り変わりを感じつつ、良い定点観測になりました!

でも、肝心の減量の効果はイマイチ...

(大塚)

★気温上昇に伴って、ビールノミタイ病が悪化。

夏は床に伸びたニャンコをツマミに美味しく吞めてしまう(ΦωΦ)

(赤崎)

★今年も梅雨明けとともにブルーベリー狩りの季節が来るんですね! 近くの農園で、美味しそうな木を見極めての試食するのが楽しみ。生が最高ですね。ジャムも作ります。

(小川)

★今年は山ビルが元気です。今年は既に3回吸血されました。防御をしっかりしたいものです。

(藺田)

★雨上がりの翌日、ヤビツ峠付近での下草刈りで、初めてヒルの洗礼を首筋に受けました。悔しい!!

(水口)

★暑い⇒熱い 夏がきました。最近少し自身の高校野球熱が薄らいできています。年なのかな〜。でも頑張らねば。348段階段登り頑張るぞ⇒糖尿病、脊椎症を吹き飛ばすぞ!!

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島 正治

広報部: 水口俊則 赤崎さほり

小川和恵 藺田栄哉

大塚晴子 小池 哉

支援 伊藤恭造 大原正志

江頭淑子

まつだ観光まつり、あしがら花火大会 平成28年8月27日(土曜日)



☆まつだ観光まつり 日時、場所:

〔メイン会場: 酒匂川町民親水広場〕 午後4時~ (プレイベント/午後3時~

〔パレード: 松田町内 詳細はホームページで〕 午後4時~午後5時50分

☆あしがら花火大会 日時、場所:

午後8時~8時40分 打ち上げ場所 酒匂川、川音川合流地点

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/39kanko-fes-ashigara-fireworks/>

緑の募金箱が置いてある飲食処【こまち】に寄ってみよう!!